別添1

提案書作成上の注意

１．提案書は、次頁以下の記載例に従って記入してください。

２．提案書の下中央にページを入れてください。

３．ページ数が多くなる場合には、必要に応じて目次を作成してください。

４．提出時には本ページ（提案書作成上の注意）及び吹き出し・青字部分は削除してください。

５．提案書は外部有識者による事前審査に付されますので、審査材料として十分な内容を記述してください。ただし、外部有識者に提出したくない内容は、本紙には概要のみを記入し、詳細は添付資料４に記載してください。（この場合、本紙に記入する概要が簡略すぎると、評価者の判断材料が不足し、評価が低くなる恐れがあるので注意してください。）

# 2025年度「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」

（新市場開拓枠フェーズα）提案用書類リスト

以下の書類を準備し、必ずチェックリストに沿って内容を確認した上でご提出ください。

PDFファイルは以下の番号毎に分割し、ファイル名は提出書類欄の名称としてください。（例：2\_事業の要旨）

必要書類、電子データが不足している場合、または、不備がある場合は不受理とします。

○・・提出必須　　△・・対象者のみ（提出任意）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 資料番号 | 提出書類 | 提出  形式 | 代表  提案者 | 共同  提案者 | 共同  研究先 |
| 1 | 提案用書類等チェックリスト | Excel | ○ | － | － |
| 2 | 事業の要旨 | PDF | ○ | － | － |
| 3 | 別添１：課題設定型産業技術開発費助成事業提案書 | PDF | ○ | － | － |
| 4 | 別添２：主任研究者研究経歴書 | PDF | ○ | ○ | ○ |
| 5 | 別添３：申請者情報 | PDF | ○ | ○ | － |
| 6 | 別添４：ワーク・ライフ・バランス当推進企業に関する認定等の状況 | PDF | △ | － | － |
| 7 | 別添５：従業員への賃金引き上げ計画の表明書 | PDF | △ | － | － |
| 8 | 別添６：福島イノベーション・コースト構想対象地域における案件チェックリスト | PDF | △ | － | － |
| 9 | 別添７：ユーザー候補からの推薦書 | PDF | △ | － | － |
| 10 | 別添8：出資理由確認書 | PDF | ○(※3) | － | － |
| 11 | 別添9：投資契約書等の出資を証明する書類の写し | PDF | ○(※3) | － | － |
| 12 | （フェーズα）  別添10：出資（検討）意向確認書  （フェーズβ）  別添10：出資意向及び理由確認書 | PDF | ○(※3) | － | － |
| 13 | 様式1：情報項目ファイル・積算表 | PDF | ○ | － | － |
| 14 | 様式2：財務項目ファイル（資金計画、資金繰り表、財務データ） | PDF | ○ | ○ | － |
| 15 | 直近３年度分の財務諸表（※1）  ・貸借対照表  ・損益計算書（製造原価報告書、販売費及び一般管理費明細書を含む）  ・株主（社員）資本等変動計算書 | PDF | ○ | ○ | － |
| 16 | e-Rad応募内容提案書 | PDF | ○ | (※2) | (※2) |
| 17 | 履歴事項全部証明書（一通） | PDF | ○ | ○ | － |

　　　 　（※1）損益計算書は、製造原価報告書、販売費及び一般管理費明細書も含めて提出ください。

「株主（社員）資本等変動計算書」は、会社法で定める株式会社、合同会社、合資会社及び

合名会社に該当する場合にのみ、提出ください

（※2）共同提案者、共同研究者も代表提案者が代表してe-Radへ研究分担者として登録ください

（※3）公募要領のとおり、資料番号10及び11又は資料番号12、いずれかの資料提出が必須となります。

[表　紙]

**「*2025年度「新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業」（新市場開拓枠フェーズα）*」*に対する提案書***

*○○*年*○○*月*○○*日

提案テーマ名

「*○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○の研究開発*」

*■提案するテーマの件名を記載してください。*

上記の件について貴機構の事業を実施したく、下記の代表者名で提案させて頂きます。

|  |  |
| --- | --- |
| 法人名 | 代表者の役職・氏名 |
| *○○○○○株式会社* | *代表取締役社長　○○　○○* |
| *国立大学法人○○大学* |  |
|  |  |

*■代表者は、企業の場合は代表権のある方とします。*

*■共同提案を行う場合は、共同提案者（委託先・共同研究先除く）の「法人名」・「代表者の役職・氏名」もすべて記載してください。*

*■採択・不採択通知の宛名になりますので、役職・氏名に誤りの無いよう十分ご留意願います。*

【代表法人連絡先】

法人名　*○○○株式会社*

所　属　*○○○部　△△△課*

役職名　*○○○○○部長*

氏　名　*○○　○○*

所在地　*○○県○○市・・・・・・（郵便番号○○○－○○○○）*

*※連絡先が所在地と異なる場合は、連絡先所在地を記載*

ＴＥＬ　*△△△△－△△－△△△△（代表）　内線　△△△△*

*※日中連絡がつく連絡先を記載*

E-mail　*\*\*\*\*\*@\*\*\*\*\*\*\*\*\**[本文]

*■共同提案を行う場合、代表法人の連絡先を記載してください。なお、代表法人以外の各法人に連絡等を取る場合もございます。*

1．実施計画の細目

（1）事業目的、目標及び事業による効果

　　①事業目的

***【記載要領】***

* ***基本計画、公募要領等の内容を踏まえた上で、本提案の目的や実施意義を具体的かつ簡潔に記載してください。***
* ***提案テーマ全体の目的ならびに実施するフェーズでの目的を記載してください。***
* ***可能な限り定量的に記載し、必要に応じて図・表等を挿入してください。***

　　②事業目標

***【記載要領】***

* ***技術開発の目標と現状の水準との対比を数値で記入するなど、具体的、簡潔かつ定量的に説明してください。この目標が妥当であることを記載してください。また、国内外の技術動向や既存の技術との関連等について、具体的かつ簡潔に説明してください。***
* ***さらに、NEDOの基本計画を達成するために基本計画と技術開発テーマとの関係ならびに技術開発テーマがもたらす、設定された目標の達成に対する有効性について、できるだけ定量的に記述してください。***

　　③事業による効果

***【記載要領】***

* ***一般的に期待される効果に加えて、助成事業終了後、本事業の実施により、国内生産・雇用、輸出、内外ライセンス収入、国内生産波及・誘発効果、国民の利便性向上等、様々な形態を通じ、我が国の経済活性化に如何に貢献するかについて、バックデータも含め、具体的に説明してください。また、費用対効果について可能な限り定量的な記載を求めてください。***

（2）事業概要

***【記載要領】***

* ***「（3）事業内容」の概要を200～250字以内で簡潔に記載してください。***

***その後、実施するフェーズの概要を記載ください。また、フェーズ終了時の達成目標を数値で記載してください。***

* ***可能な限り定量的に記載し、必要に応じて図・表等を挿入してください。***
* ***申請時点、あるいは本フェーズ以前の開発状況を、必要に応じて記載してください。***

（3）事業内容

***【記載要領】***

1. ××××の検討（担当：□□□株式会社）

***・下記の【開発課題】の解決手段や対応する検討内容と、その開発担当を記載ください。***

【研究開発内容】

***・(1)②の「事業目標」を達成するために必要な技術開発の内容を説明してください。***

***・実施する項目の例、開発内容を図表も用いて記載してください。***

***・提案する技術開発内容の新規性、独創性、優れていると考えられる点を記載してください。***

***・共同提案先および共同研究先がある場合は、それぞれの役割分担等が分かるように、記載下さい。***

***・同一技術開発項目を複数組織で実施する場合、役割分担が明確になるよう、技術開発項目の見直しまたは、実施内容を分けて記載をお願い致します。***

***また、例えば、極端な例ですが、技術開発項目①～⑧の全てで「（担当：□□□株式会社、△△△株式会社、○○○株式会社）となるような項目設定は、役割分担が分かりませんので、避けてください。***

【開発課題】

***・上記【研究開発内容】の実現を技術的に妨げている開発課題や、本開発において解決したい従来技術の問題点等について記載してください。***

***・本事業は課題解決に資する開発への助成のため、研究開発要素の説明を必要としています。研究開発要素の説明は、目的達成に必要な技術要素、あるいは（現時点では困難な）具体的達成指標の実現、実現を妨げている課題の解決 等で説明ください。***

***・採択審査上重要ですので、必ず、具体的に記載下さい。******必要に応じて図・表等を用いて分かりやすくご説明ください。***

***（本開発における開発目標実現のため、何を解決しなければいけないか、実証試験の場合どの様な懸念があるから実証を行わなければならないのか　等）***

【研究開発手段】

***・******目標を達成するために事業者が実施する、上記【開発課題】を解決するためのプロセスや開発手***

***段を記載してください。***

***・採択審査上重要ですので、必ず、具体的に記載下さい。必要に応じて図・表等を用いて分かりやすくご説明ください。***

***（何を検討するつもりか？　どのような試験をするのか？　どのような装置が必要か？　実証試験にて何を検証するか？）***

【達成目標】下表参照

***・「企業化計画書　２．研究開発への取組（１）研究開発を考える至った経緯」の「従来の問題点」「解決すべき技術課題、技術開発の内容」に対して、何を目指し、何を解決し、技術開発成果を基に「事業化する際の最終目標」を下表に記載し、「フェーズα終了時」、「フェーズβ終了時」及び「フェーズβ終了後１年目」の達成目標を下表に記載してください。***

***・提案者等自らが実施するレベルで、定量的に目標を記載してください。******また、その達成度を評価するための評価基準を明確に記載してください。***

***・各目標の設定理由を客観的に記載してください。また、特に設定値等につきましては、その拠り所となる科学的根拠、******事業的根拠を明確に記載してください。***

***・【研究開発内容】、【開発課題】、【開発手段】【達成目標】は以下のような関係性となるようご記載ください。***

***※記載の一例***

***【研究開発内容】記載内容の実現のため、【開発課題】記載の内容を、【研究開発手段】を行い解決する。【研究開発内容】の達成可否を【達成目標】にて客観的に判断する***

②××××の試験（担当：△△△株式会社、国立研究開発法人▽▽▽）

【研究開発内容】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（△△△株式会社）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（国立研究開発法人▽▽▽）

【開発課題】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（△△△株式会社）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（国立研究開発法人▽▽▽）

【研究開発手段】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（△△△株式会社）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（国立研究開発法人▽▽▽）

【達成目標】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（△△△株式会社）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（国立研究開発法人▽▽▽）

③××××の設計（担当：△△△株式会社、○○○株式会社）

【研究開発内容】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（△△△株式会社）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（○○○株式会社）

【開発課題】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（△△△株式会社）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（国立研究開発法人▽▽▽）

【研究開発手段】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（△△△株式会社）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（○○○株式会社）

【達成目標】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（△△△株式会社）

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・（○○○株式会社）

④××××の製作（担当：○○○株式会社）

【研究開発内容】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【開発課題】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【研究開発手段】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【達成目標】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

⑤××××の評価（担当：国立研究開発法人▽▽▽）

【研究開発内容】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【開発課題】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【研究開発手段】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【達成目標】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

⑥××××の海外調査（担当：○○○株式会社）

【研究開発内容】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【開発課題】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【研究開発手段】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【達成目標】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

⑦××××委員会の開催（担当：○○○株式会社）

【研究開発内容】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【開発課題】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【研究開発手段】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

【達成目標】

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 事業化する際の  最終目標 | フェーズαの  達成目標（本提案） | フェーズβの  達成目標 | フェーズβ終了後  １年目の達成目標 |
| 目標１：  ***（例）蓄電性能を○○以上にする。***  ***（●●の試験により、●●の結果となる。）*** |  |  |  |
| 目標２：  ***（例）エネルギー変換効率を○○％以上にする。***  ***（●●の評価により、●●のパラメータが●●以上を満たす。）*** |  |  |  |

***[目標の設定理由]***

***（例）①最終目標１の設定理由：○○○○***

***・フェーズαの達成目標の設定理由：○○○○***

***・フェーズβの達成目標の設定理由：○○○○***

***・フェーズβ終了後１年目の達成目標の設定理由：○○○○***

***②最終目標２の設定理由：○○○○***

2．実施計画

***・「１．(3)事業内容」であげた各技術開発項目の実施スケジュールを記載してください。（エクセル【別表２】を活用し、図形式で貼り付けるなどしてください。）***

***・「技術動向調査」、「市場調査」、「ビジネスプランの作成」等の項目は、技術開発の成果が出てから着手するのではなく、実施期間の初期から着手してください。***

***・委員会の開催予定がある場合は、スケジュール表に記載ください。***





3．企業化計画書

　別紙の通り。

4．研究開発体制等

（1）研究開発体制図

***【記載要領】***

* ***本研究開発の実施体制について、次のような図にまとめてください。共同提案の場合、各提案者の役割が分かるよう記載してください。なお、全体のスキームを全期間分について、分担が分るように記載してください。***
* ***提案者以外の協力機関（外注先などは除く）があれば、あわせて記載ください。***
* ***委託先・共同研究先がある場合は、機関毎に選定した理由（業務遂行能力や専門性など）をあわせて記載してください。委託先・共同研究先がない場合は、記載不要です。***

***【記載例】***

○○○株式会社

（○○○を共同研究）

国立研究開発法人等▽▽▽

【助成先】

【共同研究先】

（委託先・共同研究先の選定理由）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| *形態* | *機関名* | *選定理由* |
| *共同研究* | *国立研究開発法人▽▽▽* | *記載例）*  *共同研究先の●●教授は、これまで●●の研究を行ってきており、本事業においても●●に係る開発を行うため、本事業の事業化を加速する意味でも参画は妥当である。* |
| *共同研究* | *国立大学法人□□□大学* |  |
|  |  |  |

***≪共同研究先の選定理由の記載にあたって≫***

***（******共同研究先（共同研究者：○○研究室　○○教授等も記載）の本提案に関する保有技術、これまでの実績、提案者との関係など、共同研究先としての妥当性を記載ください。）***

***・共同提案の場合は、共同提案者も記載ください。***

***・助成先含め、すべての共同研究先に関して記載し、担当する研究開発項目ならびに具体的な実施内容を簡潔に記載してください。研究開発項目は******「１．実施計画の細目(3)事業内容」及び「２．実施計画」の事業項目と整合させてください。***

***・共同研究先は、学術機関等（国公立研究機関、国公立大学法人、大学共同利用機関法人、公立大学、私立大学、高等専門学校、ならびに国立研究開発法人、独立行政法人、地方独立行政法人及びこれらに準ずる機関）、一般財団法人、一般社団法人とします。また、当該事業の妥当性を実績も含めて記載ください。***

***・研究開発体制図の下で改ページしてください。***

（2）助成先における研究体制

***【記載要領】***

* ***「様式１：研究体制表」を活用し、エクセルシートを図形式で貼り付けするなどして、提案者毎に研究体制を作成してください。***

***【記載例】***



（3）委託先及び共同研究先における研究体制

***【記載要領】***

* ***「様式１：研究体制表」を活用し、エクセルシートを図形式で貼り付けするなどして、委託先及び共同研究先の研究体制を作成してください。***

***【記載例】***



（4）委員会等における外部からの指導又は協力者

***【記載要領】***

* ***「別表１：研究体制表」を活用し、エクセルシートを図形式で貼り付けするなどして、作成してください。***
* ***委員会の開催や外部有識者による助言を計画していない場合は、「無し」と記載ください。（その場合は、エクセルシートの貼り付けも不要です。）***

***【記載例】***



5．当該技術又は関連技術の研究開発実績

（1）関連する特許・ノウハウ等の保有状況

***【記載要領】***

* ***本事業の円滑な遂行にあたり、有用な保有している関連特許やノウハウ等について、他社との優位性も含めて記載してください。***
* ***なお、特許及び特許出願に関する技術並びに特許出願予定の技術について詳細に記載する場合には、「8.本提案書及びその他提出書類に記載された技術情報の確認」に記載している内容に反しないよう留意してください。***

（2）当該提案に有用な研究開発実績

***【記載要領】***

* ***提案する方式又は方法に関する国内外の状況、その中での提案者の本研究開発若しくは本研究開発の円滑な遂行に資する関連研究開発の実績等を、研究発表等を引用して記載するなどして、すべての提案者を対象に（共同提案の場合は、代表提案者及び共同提案者ともに）記載してください。***

***【記載例】***

|  |  |
| --- | --- |
| ***機関名*** | ***当該提案に有用な研究開発実績*** |
| ***△△株式会社*** |  |
| ***株式会社□□*** |  |
| ***□□研究所*** |  |
|  |  |

（3）当該提案に使用する予定の現有設備・装置等の保有状況

***【記載要領】***

* ***本研究開発を進めるに当たって必要と考えられる主な設備の中で、提案者が保有する設備状況とその用途を記載してください。***

***【記載例】***

|  |  |
| --- | --- |
| ***設備名称（保有者）*** | ***内容***  ***（使用目的・仕様等を記入してください）*** |
| ***〇〇装置（〇〇大学）*** |  |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

6．助成事業に要する費用の内訳等

***【記載要領】***

※別のExcelファイル（様式１）情報項目ファイル・積算表（2025年度新エネ・中小スタートアップ支援制度用）内の様式を使用して、作成し、ここに貼り付けてください。

※共同提案の場合、全提案者の合計額を記載してください。

（1）全期間総括表

***【記載要領】***

* ***作成にあたっては、※別のExcelファイル（様式１）情報項目ファイル・積算表（2025年度新エネ・中小スタートアップ支援制度用）内の様式を活用の上、全提案者（共同提案者・共同研究先を含む）の全期間にわたる概算額を総括表を作成してください。***
* ***各年度の「助成対象費用の合計」を記入して下さい。***
* ***提案フェーズに応じた補助率を記入してください。***
* ***共同研究先は、助成先の「助成対象費用の合計」の内数として（　）書きで記載してください。***
* ***助成金の額は、千円未満の端数を切り捨ててください。***
* ***事業期間と費用計上される期間の整合性をご確認ください。***

***【記載例】***



（注）

　※各年度の「助成対象費用の合計」を記入して下さい。

　※委託先又は共同研究先は、助成先の「助成対象費用の合計」の内数として、委託先等の「助成対象費用の合計」を（ ）書きで記載してください。

　※助成金の額は、千円未満の端数を切り捨てること。

（2）助成先、研究分担先、分室総括表

***【記載要領】***

* ***提案者毎に研究開発に必要な概算額について、交付規程で定める助成対象費用（※）に従って、総括表を記載してください。***

***（※）助成対象費用：***

[***https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo\_josei\_koufukitei\_koufukitei.html***](https://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo_josei_koufukitei_koufukitei.html)

* ***作成にあたっては、※別のExcelファイル（様式１）情報項目ファイル・積算表（2025年度新エネ・中小スタートアップ支援制度用）内の様式を活用の上、全提案者（共同提案者・共同研究先を含む）の全期間にわたる概算額を総括表を作成してください。***
* ***助成先毎の共同研究費の合計額は、原則として助成先の全体額の50％未満とします。***
* ***共同提案の場合、提案者毎に作成してください。***
* ***提案フェーズに応じた補助率を記入してください。***
* ***項目毎に「助成対象費用」を記入してください。***
* ***Ⅳ．共同研究費については、助成先がＮＥＤＯへ計上する助成対象費用は、消費税抜き額になります。***

*【記載例】*



（3）委託先、共同研究先総括表

***【記載要領】***

* ***共同研究先毎に「共同研究先総括表」を作成しください。***
* ***Ⅰ～Ⅳについては項目毎に「助成対象費用」を記入してください。消費税及び地方消費税についてはⅠ～Ⅳに対応する消費税額を記入してください。***
* ***大学等に在籍する学生を研究員として登録することができます。詳しくは、課題設定型産業技術開発費助成事業　事務処理マニュアルを参照してください。***
* ***作成にあたっては、※別のExcelファイル（様式１）情報項目ファイル・積算表（2025年度新エネ・中小スタートアップ支援制度用）内の様式を活用の上、全提案者（委託先・共同研究含む）の全期間にわたる概算額を総括表を作成してください。***

***【記載例】***



（注）

※「委託費・共同研究費」、「学術機関等に対する共同研究費」の場合は、事業者毎に「委託先、共同研究先総括表」を作成して下さい。

※Ⅰ～Ⅳについては項目毎に「助成対象費用」を記入して下さい。消費税及び地方消費税についてはⅠ～Ⅳに対応する消費税額を記入して下さい。

（4）項目別明細表

***【記載要領】***

* ***提案者毎に「(2) 助成先、研究分担先、分室総括表」及び「(3) 委託先、共同研究先総括表」の積算根拠となる予算明細表を年度毎（2025年度、2026年度）に作成してください。***
* ***あくまで提案時点の予算明細を伺うものであり、採択後、交付決定や検査時などで精査した結果、経費として計上が認められない場合もございますので、あらかじめご承知おきください。***
* 学術機関等と共同研究を行う場合は、（様式１）情報項目ファイル・積算表（新エネ・中小スタートアップ支援制度用）中の明細表（共同研究先＿学術機関）を添付してください。一般社団法人・一般財団法人と共同研究を行う場合は、明細表（共同研究先＿その他）を添付してください。
* 本事業では、成果を特許出願するための費用を計上することはできません。
* 「金額」の欄に記入する単価は、消費税抜きの金額としてください。
* 「助成対象費用」の欄には、助成事業に要する費用のうち、助成対象とする部分の金額を記入してください。一般には「助成事業に要する費用」と同額です。
* 「助成金の額」の欄には、経費区分（Ⅰ．機械装置等費、Ⅱ．労務費、Ⅲ．その他経費、Ⅳ．共同研究費（１.委託費・共同研究費のみ））毎に、経費全額の2／3以内、千円単位で端数切り捨ての金額が自動的に計算されます。中の数式等を変えないようお願いいたします。
* 助成事業に要する費用（＝助成事業の総費用）、 助成金の額（＝助成金交付申請額）については、（別添３）申請者情報の「３　助成事業の総費用」「４　助成金交付申請額」の合計欄と必ず一致していることを確認してください。
* ***・助成対象費用の詳細は、以下リンクの「課題設定型産業技術開発費助成金交付規程」の（別記）助成対象費用（内容）をご参照ください。***

[***http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo\_josei\_koufukitei\_koufukitei.html***](http://www.nedo.go.jp/itaku-gyomu/hojo_josei_koufukitei_koufukitei.html)

***【記載例】※助成先の場合***



（注）

※細目ごとに金額(単価×数量)を記述してください。記載する金額は、消費税抜きとします。

※「助成対象費用」には、「助成事業に要する費用」のうち、助成対象とする部分の金額を記入してください。一般には、「助成事業に要する費用」と同額です。

※「助成金の額」には、補助率に従い、「助成対象費用の合計」に補助率を乗じて千円未満を切捨てた金額を記入してください。

***【記載例】※共同研究先の場合***



（注）

※細目ごとに金額(単価×数量)を記述してください。記載する金額は、消費税抜きとします。

※「助成対象費用」には、「助成事業に要する費用」のうち、助成対象とする部分の金額を記入してください。一般には、「助成事業に要する費用」と同額です。

※「助成金の額」には、補助率に従い、「助成対象費用の合計」に補助率を乗じて千円未満を切捨てた金額を記入してください。

7．類似の研究開発及び研究費の応募・受け入れ状況

（1）現に実施あるいは応募している公的資金による類似の研究開発

***【記載要領】***

* ***現に実施あるいは応募している公的資金による類似の研究開発がある場合には、以下の【記載例】に沿って、その制度名、事業概要及び本提案との差異等について説明してください。（共同研究先分も含みます）。***
* ***該当が無い場合には、表は削除の上、「該当無し」と記載してください。***

***【記載例】***

|  |  |
| --- | --- |
| 配分機関名 | ***▲▲省*** |
| 制度名 | ***○○○○補助金*** |
| 事業者名 | ***◇◇株式会社*** |
| 研究期間 | ***年　月　日　～　　年　月　日*** |
| 予算額（受入研究費額） | ***○○○○円*** |
| 事業概要  （目標・成果） | ***簡潔かつ明瞭に記述してください。*** |
| 本提案との差異 | ***本提案との重複が無いことを明確に判断できるように記入してください。重複がある場合はその旨記入ください。***  ***※重複がある提案中又は提案予定の事業が採択（あるいは採択予定）となった場合は、遅滞なく、NEDOへその旨連絡ください。***  ***記載例）***  ***当該事業と本提案の提案内容は〇〇〇の点では一致している。しかしながら、当該事業の技術課題は×××だが、本提案の技術課題は△△△であり、技術課題が異なる。***  ***またその解決手段も当該事業では×××により解決を行い、本提案では△△△の手段により解決を図っている。***  ***以上の様に技術課題及びその解決手段がともに異なるため、当該事業と本提案は全く別の内容である。*** |

（2）現に実施している自己資金による類似の研究開発

***【記載要領】***

* ***本提案の研究開発と並行して類似の自社研究を続ける場合には、その研究概要、目標（性能等）を明らかにしてください。また、実施を希望している研究と類似する自社研究を明確に区別できることを説明してください。（共同研究先分も含みます）***
* ***該当が無い場合には、「該当無し」と記載してください。***

（3）その他の研究費の応募・受入状況

***【記載要領】***

* ***「競争的研究費の適正な執行に関する指針」（以下、「指針」という）に基づき、応募された研究課題が研究費の不合理な重複や過度の集中にならず、研究課題の遂行に係るエフォートを適切に確保できるかどうかを確認するために、各法人の主任研究者について必要な情報を求めることとしています。***
* ***各法人の主任研究者（委託先・共同研究先含む）が、現在受けている、あるいは申請中・申請予定の公的資金以外のその他の研究費（国外も含め、補助金や助成金、共同研究費、受託研究費等、現在の全ての研究費であって個別の研究内容に対して配分されるもの（※）。）の状況（配分者名、制度名、研究課題、実施期間、予算額、エフォート）を【記載例】に沿って、記入してください。***

***（※）「その他の研究費」の範囲は、「指針」において「所属する機関内において配分されるような基盤的経費又は内部資金、商法で定める商行為及び直接又は間接金融による資金調達を除く」、とされています。民間企業については、会社法第５条において、会社がその事業としてする行為及びその事業のためにする行為は商行為とする、と規定されています。従って、民間企業同士の共同研究や受託開発などは商行為に該当し、指針における「その他研究費」には含まれません。また、民間企業が社債・株式を発行して、証券市場を通じて調達した資金や、銀行などの金融機関からの借り入れで調達した資金も、「その他研究費」には含まれません。***

* ***ただし、既に締結済の秘密保持契約等の内容に基づき、NEDOや採択審査委員、共同提案する他の事業者〈代表法人等〉に情報開示が困難な場合など、やむを得ない事情により具体的な記載が難しい場合は、エフォートのみ提出でも可能です。この場合においても必要に応じて所属機関に照会を行うことがあります。***
* ***主任研究者が申請時に記載する役職以外で、他機関における役職がある場合は、機関名・役職（兼業や、外国の人材登用プログラムへの参加、雇用契約のない名誉教授等を含む。）に関する情報を【記載例】に沿って、記入してください。***
* ***研究費や所属機関・役職に関する情報に加えて、寄附金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、各法人の主任研究者が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、関係規程等に基づき、所属機関に適切に報告をしている旨の誓約を【記載例】に沿って、記入してください。***
* ***記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。***
* ***公募要領に記載の「「不合理な重複」及び「過度の集中」の排除」も併せてご参照ください。***

***【記載例】***

①主任研究者：***○○株式会社　○○　○○（氏名）***

***※代表提案者の主任研究者について、記載。***

【研究費】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 相手機関名  （国名） | 制度名/研究課題名 | 受給/契約  状況 | 研究期間 | 予算額  （受入研究費額） | ｴﾌｫｰﾄ  (％) |
| ***○○企業（日本）*** | ***△△に関する共同研究*** | ***契約中*** | ***2023.4***  ***－2025.3*** | ***000,000千円*** | ***10*** |
| ***○○財団（日本）*** | ***××事業/△△の開発*** | ***申請*** | ***2021.4***  ***－2025.3*** | ***000,000千円*** | ***10*** |
| ***××株式会社***  ***（米国）*** | ***■■の要素技術開発*** | ***契約中*** | ***2018.4***  ***－2023.3*** | ***000,000千円*** | ***20*** |
| ***―*** | ***―*** | ***―*** | ***―*** | ***―*** | ***15*** |

【所属機関・役職】

|  |  |
| --- | --- |
| 所属機関名 | 役職 |
| ***○×研究所*** | ***主任研究員*** |
| ***○○大学*** | ***名誉教授*** |
| ***××株式会社*** | ***顧問*** |

【誓約】

「***○○株式会社　○○　○○（氏名）***」は、上記に示す研究費や所属機関・役職に関する情報に加えて、寄附金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、自身が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、関係規程等に基づきに適切に所属機関に報告していること、誓約いたします。

②主任研究者：***△△株式会社　○○　○○（氏名）***

***※共同提案の場合に、共同提案者の主任研究者について記載。単独提案の場合は、記載不要です。（①のみ記載いただき、②を削除いただいて構いません）***

【研究費】

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 相手機関名  （国名） | 制度名/研究課題名 | 受給/契約  状況 | 研究  期間 | 予算額  （受入研究費額） | ｴﾌｫｰﾄ  (％) |
| ***○○企業（日本）*** | ***△△に関する共同研究*** | ***契約中*** | ***2023.4***  ***－2025.3*** | ***000,000千円*** | ***10*** |
| ***○○財団（日本）*** | ***××事業/△△の開発*** | ***申請*** | ***2021.4***  ***－2025.3*** | ***000,000千円*** | ***10*** |
| ***××株式会社***  ***（米国）*** | ***■■の要素技術開発*** | ***契約中*** | ***2018.4***  ***－2023.3*** | ***000,000千円*** | ***20*** |
| ***―*** | ***―*** | ***―*** | ***―*** | ***―*** | ***15*** |

【所属機関・役職】

|  |  |
| --- | --- |
| 所属機関名 | 役職 |
| ***○×研究所*** | ***主任研究員*** |
| ***○○大学*** | ***名誉教授*** |
| ***××株式会社*** | ***顧問*** |

【誓約】

「***△△株式会社　○○　○○（氏名）***」は、上記に示す研究費や所属機関・役職に関する情報に加えて、寄附金等や資金以外の施設・設備等の支援を含む、自身が関与する全ての研究活動に係る透明性確保のために必要な情報について、関係規程等に基づきに適切に所属機関に報告していること、誓約いたします。

8．本提案書及びその他提出書類に記載された技術情報の確認

***【記載要領】***

* ***公募要領の「特許出願の非公開に関する制度の留意点」に記載の通り、特許出願の非公開に関する制度を考慮し、記載・添付する技術情報の取扱いにご注意ください。提案書及びその他提出書類中の技術情報の記載について確認をした後、【記載例】の文章を必ず記載してください。***
* ***なお、これにより、提案の内容を十分に説明できない場合には、「対象となる技術内容について別途説明を希望する。」旨を併せてご記載ください。***

***【記載例】***

　本提案書及びその他提出資料中には、保全対象発明の内容、特許庁における一次審査又は内閣府における保全審査中であって特定技術分野と関係し得る特許出願の詳細な技術情報、及び、出願予定の技術情報であって特定技術分野と関係し得る詳細な技術情報については記載されていません。

（別紙）

企業化計画書

株式会社○○○○○○

***【記載要領】***

* ***共同提案の場合、代表提案者がとりまとめて作成ください。代表提案者と共同提案者で事業化計画が大きく異なる等、とりまとめての作成が困難な場合は、提案者ごとに作成してください。***
* ***国内生産・雇用、輸出、内外ライセンス収入、国内生産波及・誘発効果、国民の利便性向上等の形を通じて、我が国の経済活性化の実現に努めるものとして、想定の範囲で記述してください。***
* ***共同提案の場合で、共同提案する他の事業者〈代表法人等〉に記載内容を公開したくない事業者がいる場合には、当該事業者の公開したくない情報を除いた上で提案書を提出し、NEDO担当者からの提案書受理メールの受領後、当該メール送付者に当該事業者分の「企業化計画書」の送付をお願いいたします。なお、送付の際は、件名を「【申請受付番号】\_企業化計画書（当該事業者名）の送付」としてください。***

1. 研究開発を行う製品・サービス等の概要

(1)内容

***製品・サービス等の内容や、研究開発の成果が、当該製品・サービスへどのように反映されるかを記載してください。***

(2) 製作・実施等の制約

***製品・サービス等の製作・実施にあたって、必須となる材料等の調達先（国、企業、産地等）や制約等、サプライチェーン上の立ち位置等を記載してください。***

(3)用途（販売予定先）

***当該製品・サービスの販売ルート（国、地域含む）、販売先等を記載してください。この販売先以外の分野等で利用できる場合は、それについても記載してください。***

***・提案テーマの成果をどのような製品・サービスとして提供し、事業化を目指すかを具体的かつ明確に記載してください。また、想定するビジネスモデルも記載ください。***

***（・当該製品・サービスの販売先等を、可能な限り具体的に記入してください。）***

***（・当該製品・サービスの想定販売価格、目標コスト等を記入してください。）***

2. 研究開発への取組

***実用化を目指す上での開発計画（開発拠点、実用化・事業化に必要な国内外機関との連携や体制構築含む含む）、投資計画（製造拠点含む）、実用化能力を説明記載してください。***

***また、当該事業で行われる技術開発の内容以外で******並行して行われるべき知財・標準化等のオープン・クローズ戦略や、その他実用化・事業化のために必要な技術開発内容や、製品設計内容等の検討状況も具体的に記載し、どの様に達成するかについても併せて記載願います。***

(1)研究開発を考えるに至った経緯（動機）

***事業者における研究計画、事業計画等に基づき、どの様な背景で研究開発を考えるに至ったのかを具体的に記載願います。***

(2)事業として成功すると考えた理由

①自社の強みと経験（技術優位性）

***提案者の自己ＰＲを記載してください。***

（ⅰ）提案者の事業化に対する経営理念、基本方針等

***・提案者の事業化に対する経営理念、基本方針、目標等をわかりやすく記載してください。***

（ⅱ）提案者の固有の強み

***・提案者の固有の強み（例えば、取得した特許の数、人的ネットワークの構築、産学連携の取り組み等）を、具体的に記載してください。***

（ⅲ）提案者の固有の強みの活用実績、今後の展開

***・（ⅱ）で記載した提案者の固有の強みをどのように活用して、これまで事業や技術開発に取り組んできたのか、また、その結果、どのような成果・効果が得られたのか記載してください。***

***・（ⅱ）で記載した提案者の固有の強みを、今後どのように活用し、事業や技術開発を展開して　　いくのか、また、その結果、どのような成果・効果が期待できるのか記載してください。***

***・記載にあたっては、可能な限り定量的に記載してください。***

（ⅳ）今回の提案テーマの位置づけ

***・（ⅲ）に記載されたような活用実績、今後の展開の中で、今回の提案テーマがどのような位置　　づけにあるのかを記載してください。***

②知的財産面での優位性

***・提案テーマに関する知的財産権（特許等）の取得状況等を記載してください。提案者及び全ての共同提案者も含め、提案テーマに関するすべて知的財産権の取得状況等を記載してください。***

***・現時点で取得済であるものは、「発明の名称」、「発明者」、「権利者」、「出願年月日」、「出願国」、「取得年月日」、「備考（登録番号等）」を記載の上、「内容（要約）」を記載してください。***

***・現時点で出願済であるものは、「発明の名称」、「発明者」、「出願人」、「出願年月日」、「出願国」、「経過情報（審査請求中等）」、「備考（出願番号等）」を記載の上、「内容（要約）」を記載してください。***

③ビジネスプラン面での優位性

***・提案テーマと、競合技術・従来技術との比較において、特徴・性能（コスト・サイズ・重さ・耐　久性等）等に関する比較表を作成し、客観的に優位性、独自性等を示してください。競合技術について「該当なし」の場合には、その根拠を示してください。***

***・独立行政法人（国立研究開発法人を含む）または公益法人が共同研究先として応募する場合は、提案テーマの技術分野において、当該法人の持つ技術的な優位性（他の機関では実現不可能なこと）を明記してください。***

(3)事業化のスケジュール

***・助成期間終了後５年間の事業化計画について、想定する事業化の達成時期、事業化までのマイ　ルストーンを具体的にわかりやすく記載してください。***

***・事業化の各段階において、事業化の中断や延期など、事業化全体の計画変更を考慮する必要がある重大な障害を予想し、記入してください。その重大な障害に対する変更後の対応策をご記載ください。***

***・また、重大な障害が回避し得ない場合、どの時点で計画変更の判断を下すのかを、線表に記入してください。***

***・生産・販売の一部又は全部を自社で行わない場合は、委託先の選定、協力体制等を具体的に記述してください。***

***・事業化スケジュールのフォーマットは（別表２）実施計画の「事業化スケジュール」シートをご使用ください。（図形式で貼り付けるなどしてください。）***



***(記載例；提出時は削除してください)***



3. 市場の動向・競争力

(1)市場規模（現状と将来見通し）／産業創出効果

***販売開始後5年経過までの国内と海外の市場規模推移（百万円）を示し、その根拠を記述してください。提案者のみの市場シェアにこだわらず開発した製品の市場規模として捉えてください。***

***また、市場における提案者のシェアの推移を見通し、その根拠を記述してください。***

***【記載例】***

***市場規模(国内／海外)*  *シェア(国内／海外)***

***例：現状 ○○○百万円 ％***

***プロジェクト期間終了時点 ○○○百万円 ％***

***終了後1年目（　　年度） ○○○百万円 ％***

***終了後2年目（　　年度） ○○○百万円 ％***

***～～***

***終了後5年目（　　年度） ○○○百万円 ％***

***市場規模算出の根拠：～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～***

***シェア見通しの根拠：～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～～***

(2)競合が想定される他社の開発動向とそれに対する優位性の根拠

***競合が想定される他社の製品・サービスに対し、予想される価格・仕様などを考慮して、自社製品・サービスの優位性の根拠を記述してください。***

(3)価格競争力

競合製品・サービスの市場価格と自社製品価格の比較、損益分岐点など、価格競争力の算出根拠を記述してください。（競合技術や製品、代替技術や製品との比較を、市場的な視点（ユーザーの利便性や価格等）で行い、ビジネスとしての優位性を示してください。）

4. 売上見通し

(1)売上見通し（単位：百万円）

***販売開始後5年経過までの売上と収益の見通しを記述してください。また、販売単価、販売数、原価など、売上と収益の算出根拠を記述してください。***

***２．（3）事業化のスケジュールの表内に記載の売り上げや収益と、齟齬が無いように注意してください***

***【記載例】***

***販売単価 　販売数 　　　　　　売上 　　　　　製品原価 　収益***

***1年目（　年度） ○○万円 　○○○個 ○○○百万円 ○○○百万円 ○○百万円***

***2年目（　年度） ○○万円 　○○○個 ○○○百万円 ○○○百万円 ○○百万円***

***～～***

***5年目（　年度） ○○万円 　○○○個 ○○○百万円 ○○○百万円 ○○百万円***

・ターゲット市場に対して、どのように収益を上げるか、その仕組みをわかりやすく図表等を用いて記載してください。

(2)売上見通し設定の考え方（算出の基本となる製品、サービス等の予定価格等を具体的に記述すること。）

***どのような仕組みで収益を得るのか、投資額など収益の算出根拠を含め、収益計画を記述してください。***